

令和3年7月8日（木）
令和3年度第1回始良・伊佐保健医療圏
地域医療構想調整会議
＜資料2＞

【報告事項2】

霧島市立医師会医療センター基本設計概要等について



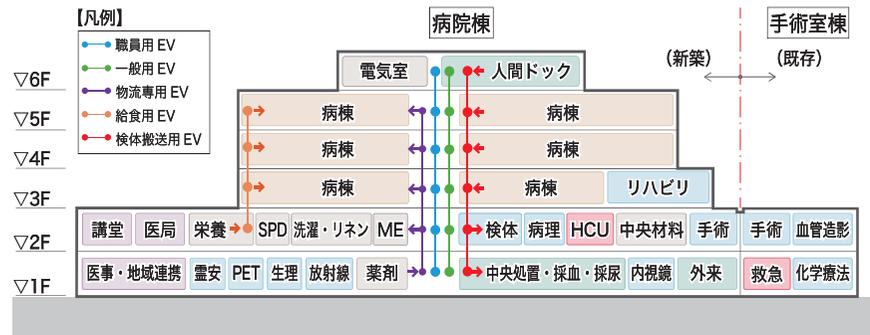
1. 施設のコンセプト

■設計のコンセプト

1. 患者への看護が行き届く全室個室型病院
2. 患者・家族等利用者の視点に立った、快適な療養環境の提供
3. 地域医療支援病院として、診療機能を効率的に発揮できる機能的な病院
4. 地域災害拠点病院として、安心・安全で災害に強い病院
5. 工事中における既存病院の診療継続に配慮した建替え計画と、将来増築への対応
6. 末永く市民に親しまれ、安心の拠点となる建築デザイン

■デザインのコンセプト

新病院は先進的な医療施設としての佇まいに「霧島らしさ」を「和える」ことで、先進性と地域性の双方の魅力を引き出し、悠久の歴史を引継ぎ、次世代へつなぐ新たなデザインを目指す。



2. 敷地概要

施設名称	霧島市立医師会医療センター
所在地	鹿児島県霧島市隼人町松永 3320
敷地面積	44,189.978 m ² (測量面積)
用途地域	都市計画区域内 用途地域指定なし

3. 建築概要

延べ面積	27,182.27 m ² (うち新築 病院棟: 23,192.20 m ² / その他附属棟合計: 420.02 m ²)
階数	地上6階・地下無し
病床数	254床 (うち一般病床: 250床 / 感染症病床: 4床)
診療科	24科
その他	駐車場 (約600台)、駐輪場

4. 設備概要

BCP (事業継続計画)	2回線受電 / 3日分の燃料備蓄 (通常時の6割利用)、受水槽に3日分の水量を貯水、非常用発電機の設置 (既存浄化施設も含む)、食料・飲料水・医薬品を3日分確保
環境配慮	高効率設備 (変圧器・空冷チラー) の採用、LED照明器具や昼光センサーによる自然光利用、吹抜けを利用した重力換気、Low-eガラスによる熱負荷の低減

5. 概算工事費

工事費	約135億円 (新病院建設工事、外構工事、ヘリポート工事、既存手術室棟改修工事) ※今後、実施設計において精査 (解体工事費、医療機器等整備費、家具什器備品 等含まず)
-----	---

6. スケジュール

	2020 令和2年	2021年度 令和3年度	2022年度 令和4年度	2023年度 令和5年度	2024年度 令和6年度	2025年度 令和7年度	2026年度 令和8年度	2027年度 令和9年度
基本設計		ECI発注	実施設計					
開院準備								
新病院棟新築工事								
★新病院開院								
既存改修・解体・外構工事								
★グランドオープン								

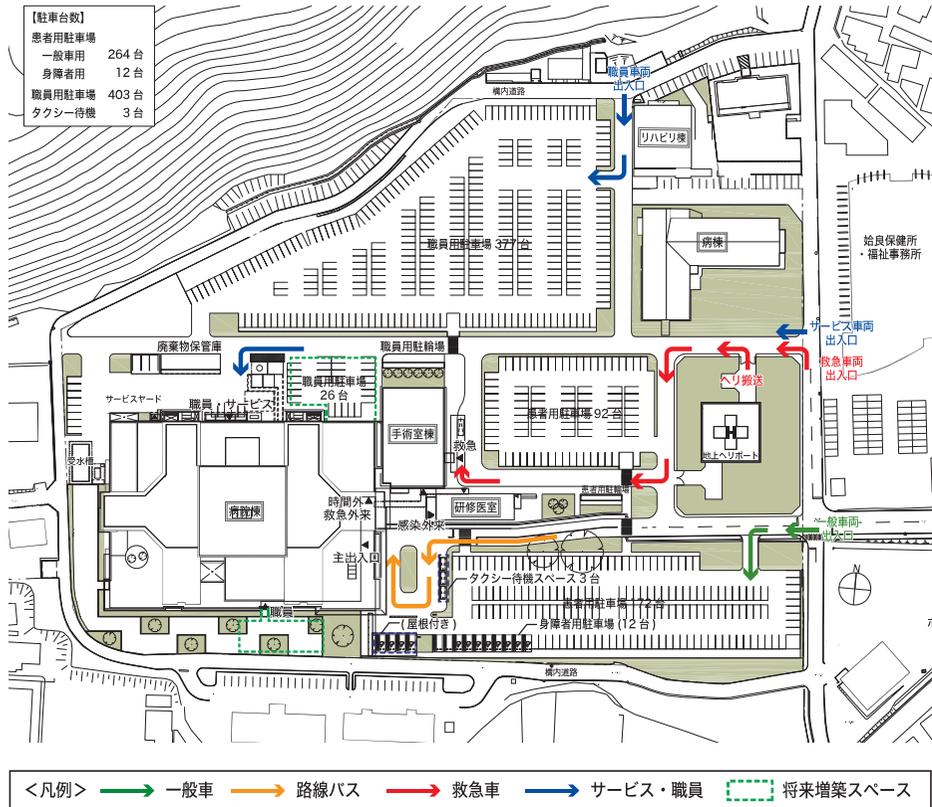
7. 配置計画

■建物配置・動線計画

- ・既存手術室棟との繋がりに配慮し、敷地南西側に位置する桜島の眺望を病棟から眺められる配置とする。
- ・敷地東側に地上ヘリポート（飛行場外離着陸場）を整備する。
- ・一般車両（患者・家族）、公共交通（バス、タクシー）は既存病院のアプローチ路を延伸した計画とする。
- ・病院棟の主出入口前に設けるメインロータリーは、路線バスが回転できる広さを確保する。また、タクシー待機スペース（3台分）を確保する。
- ・救急車両、サービス車両の出入口は、メインアプローチとは別に地上ヘリポート北側に整備し、一般車両との動線交錯を少なくする。

■駐車場計画

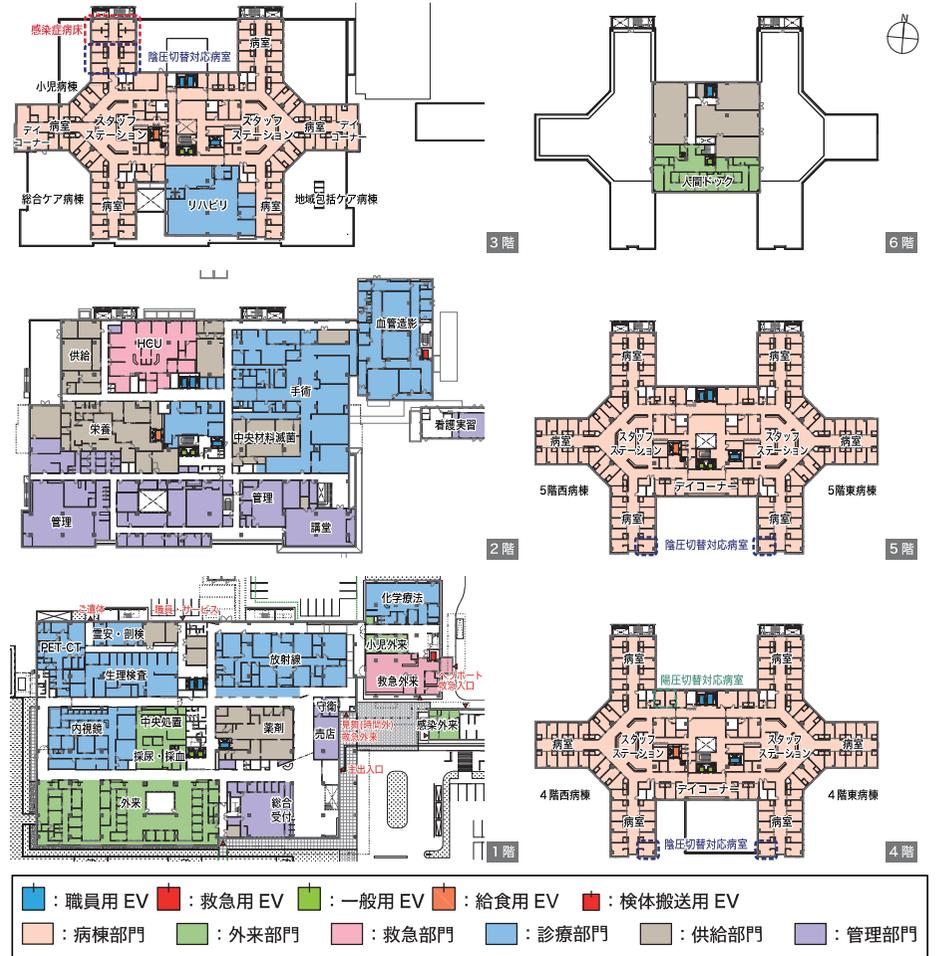
- ・患者用駐車場は病院棟東側に約 260 台整備する。
- ・身障者用駐車場はメインロータリーに面した位置に計 12 台分を確保する。



8. 平面計画

■各階平面

- ・1階は外来機能を集約し、フロア内を回遊できる動線により、患者同士の交錯を減らし、安全かつ明快な外来を計画する
- ・2階は管理機能を環境の良い南側に集約し、中央診療機能は既存手術室棟と一体的に整備する。搬送の利便性に配慮して供給部門を配置する。
- ・3階は総合ケア・地域包括ケア・小児の各病棟は療養環境に配慮し接地性のある階に計画する。
- ・4階、5階は看護動線が短く、見守りしやすい1看護44床の全室個室病棟として計画する。
- ・6階は眺望の良い最上階に人間ドックを配置する。



霧島市立医師会医療センター新築に関する病床機能の変更について

	現在（2020年度報告）	2025年度（将来）
高度急性期		10
急性期	180	205
回復期	70	35
慢性期		
計	250	250